

効果測定（ADR）の正解

実施日 令和 年 月 日

氏名 支部名

点

下記の1～10の設問を読んで、正しいものには○、誤っているものには×を解答欄に記入して下さい

	設 問	解答欄
1	ADRの種類のひとつとして、訴訟がある。	×
2	ADRでは、民事上の紛争だけでなく、刑事事件も取り扱う。	×
3	NPO法人が行うADRは存在する。	○
4	ADRでは、当事者の合意よりも、法律が絶対的に優先される。	×
5	ADRでは、当該分野の専門家の知見が、活かされることが、期待されている。	○
6	いかなる分野のADRにおいても、費用は必ず訴訟より安くなることが確定している。	×
7	報酬に関するADR法第28条は、弁護士法72条の特例とは、いえない。	×
8	すべてのADRにおいて、相手方には、応諾義務、手続協力義務、調停案受諾義務がある。	×
9	ADRは非公開で行われなければならないことが、法に定められているわけではない。	○
10	ADR法の認証を受けている事業者数は、20件以下である。	×